



イザヤ四十二章5、6節
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。

天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。

私の父（現ジェネシスジャパン名誉会長宇佐神正海）は、日本で科学的視点から創造の事実を伝え始めた先駆者で、1978年にジェネシスジャパンの前身となる「聖書と科学社」を発足し、インパクトシリーズなど海外の創造を信じる科学者たちが執筆した論文の翻訳出版を始めました。

一方、当時高校生だった私は、父がなぜそれほど熱心に創造を伝えるのかわかりませんでした。「十字架の救いこそ重要で、それに比べて創造はそんなに大切ではないんじゃないか」と考えていたからです。

つい先日、アメリカの聖書学校を卒業した息子から同様の質問をされました。私は「お父さんも昔はそう思っていたよ」と答えました。みなさんはどう思われますか。

私が創造をそんなに大切ではないと考えた理由は何だったでしょう。いくつかの理由が挙げられますが、その一つは、創造を論じることで進化論を信じている人から変に思われたくなかったのです。

実は、18～19世紀に無神論思想に基づくハットンの斉一説、ライエルの地質学原理、ダーウィンの進化論が次々と発表され、それが科学として扱われるようになるにつれて、キリスト教界でも同様の動きが起きました。多くの牧師や神学者たちが科学として語られている進化論とぶつかるのを

「それはその心に思ふごとく
また
その人となりも亦しかればなり」

文語訳聖書箴言23章7節

創造をそのまま 信じることの大切さ (2)

避けて、天地創造をあまり語らなくなり、創造主の愛とキリストの救いを強調して語るようになったのです。

進化論を信じる人が増えていく中で時代遅れの宗教というレッテ

ルを貼られるのを恐れた神学者たちは、天地創造に関して進化論などの主張に調子を合わせた解釈を考案しはじめました。これらを総称して、広い意味で有神進化論と呼びます。そしてこれらの解釈が

出てきた結果、ますます多くの人が天地創造を文字通りには信じられなくなっていきました。結果として、いろいろな解釈があるのだから、どんな創造だったかは重要ではないという理解に拍車がかかり、一層キリストの救いが強調されるようになっていきました。私が高校生だったとき、多くのクリスチャンが強調していると感じたのはキリストの十字架と救いでした。そのため救いがゴールのような意識を私は抱いていたのでした。では創造主もそのように考えておられるでしょうか。

罪と死の原因

私が米国のキリスト教大学で創世記3章を学んでいた時、なぜ創造を文字通りに信じるのが大切に気付かされたのです。それは、天地創造は罪も死もない苦しみも悲しみもない「非常によい」と創造主が宣言されたすばらしい天地創造だったことを学んだ後のことでした。

アダムとエバは、創造主のかたちと永遠のいのちが与えられていました。しかしアダムの罪によってすべてが変わってしまったのです。パウロがローマ 5:12～21、1コリント 15:21～22 で論じているように、この世界が呪われ人が死ななければならなくなった原因はアダムの罪のためで、キリストの身代わりの死によって救われなければ、誰一人再び永遠のいのち

ちを受けることができないことが心の底からわかったのです。その時、御子を惜しまずに人に与えてくださった創造主の愛の深さに胸が熱くなりました。

もし私が有神進化論の解釈を受け入れたなら、それがどの立場であっても病気や死がアダム以前から存在していたことを受け入れざるをえません。そうすると、死は罪の結果ではないと考えようになっただけでしょう。また、天地創造をそのまま語ることができず、罪の悔い改めも、原罪にふれずに個人の罪からの救いを中心にしか語れなくなったでしょう。そう考える時、天地創造を文字通りに信じるのが救いを理解するためにどれだけ大切かを思わされるのです。

救いの意義

聖書信仰で、救いの重要性は述べるまでもありません。アダムの罪以降すべての人が創造主に対して罪を犯し、死ななければならぬ存在となりましたが、キリストの身代わりの死と贖いを信じるすべての人は救われて、新しく生まれ、永遠の命を与えられるからです。このことはニコデモに対するキリストの答えに(ヨハネ3章)ははっきりと示されています。

では、救われることは私たちにどうしてゴールでしょうか、それともスタートでしょうか。みなさんはどちらだと思いますか。高校生

の頃の私は救いをゴールのように思っていたのです。

キリストは、救われることを「新しく生まれる」と述べています。生まれるとは人生のスタートです。私には、二人の息子がいますが、子が生まれなければ人生は始まりません。息子たちが生まれた時、とてもうれしく、多くの人が共に喜んでくださいました。

生まれるということは、それほど喜ばしいことですし、そこから始まりです。もし子が生まれることがゴールであるならば、その後子供がどう育つかは重要ではなく、子供は孤児同然になってしまいます。

同様に、キリストの救いを信じるのが創造主にとってのゴールであるならば、救いを信じた人は孤児になってしまいます。創造主の子とされることはスタートで、これなしには何も始まらないほど重要なことです。



地球の年代をどう信じるかは、造り主と聖書のことをどう信じるかに影響します。

信仰の土台

人はその人の世界観に左右されて生きるようになります。文語訳聖書の箴言 23:7 は、ヘブル語の原文の直訳で「そはその心に思ふごとくその人となり^{また}も亦しかればなり(文語訳聖書箴言 23:7)」とあります。「それは、人は心で信じる通りの人となる。」ということです。人がもし間違った世界観を信じるなら、その人の考え方や言動もその世界観に沿ったものになります。ある牧師が私に、「教会員の中に進化論を信じている人たちがいて、天地創造を信じるのができない」と嘆き、こう続けました。「毎週礼拝で、『我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。』と使徒信条を告白しているのに…と。その信徒は進化論の世界観を教えられたため、聖書を信じた後でもその世界観を信じ続けているので、創造主が全能者であることを心から受け入れることができないのです。またやはり使徒信条を告白する別な教会に通っている方に「使徒信条をすべて信じていますか」と尋ねた時、次のように答えました。

「創造主が天地創造をしたというのは本当だろうか疑問に思う。」「処女マリヤより生まれというのもありえないのではないか。」「キリストが復活したというのも本当だろうかと思う。」と。何が問題なのでしょう。そ

の人もつ世界観がその人の人となりをつくるのです。全能の父と口では告白していても、心ではそれを受け入れていないのです。天地の造り主が全能の父であることを信じられるなら、天地創造をそのまま信じることができます。そして天地創造をそのまま信じることができるなら、預言や奇跡、キリストの処女降誕や贖いの死と復活、永遠のいのちなど、聖書に記されているすべてを信じるのできるのです。

ある神学校で天地創造の重要性を講義した一週間後に、一人の神学生が「今までは、これは本当だろうかと首をかきながら聖書を読んでいましたが、天地創造を信じられるようになったら、聖書のすべてが信じられるようになりました。」ととてもうれしそうに報告してくれました。

創造主にとって私たち人間の救いはもちろん重要ですが、そこからスタートです。創造主は私たちが正しい世界観を身につけてほしいと望んでおられるはず。天地創造をそのまま信じるのがいかに大切かがわかった今、私は高校生の頃と違い、聖書のことに全幅の信頼を置くことができるようになりました。そして聖書のことに養われ、創造主のかたちを回復してキリストの似姿に成長し、主の役に立つ働き人となればと願っています。私にとって天地創造をそのまま信じることはその根底にあるのです。

「神」を「創造主」と訳した
創造主訳聖書

「神」が「創造主」だと
わかった時、
人生が変わった。

「創造主訳聖書」の特徴

- 読むだけで良くわかる翻訳!
- 地図、写真、図表などの多彩な図版!
- 厚さ2cm、B6判で持ち運びに便利!
- 文字を拡大して読めるルーベ葉付き!

定価(本体 2,800円+税)
B6判 1248頁(旧新約聖書)

発行: 創造主訳聖書刊行会
発売: ログス出版社

お求めはお近くのキリスト教書店まで。

創造を伝える働き人養成講座

【参加資格】

- ・ 聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる人。
- ・ 御子イエス・キリストを救い主と信じている人。
- ・ 創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願っている人。

講座の目的と概要

- * 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる
- * 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ
- * 創造を伝えるのに使える資料の提供
- * 修了証授与（全日程参加者）
- * 創造論を用いての個人伝道、CSや教会でのメッセージ、講演ができるように協力
- * 創造論伝道で励まし合える仲間を育む

2泊3日5食・定員12名・参加費3万円

お申込/詳細のお問合せは

ジェネシスジャパンまで

tel 029-292-9621

fax 03-6862-8340

e-mail info@genesisjapan.com

創造論がこんなに重要な意味を持っているとは…

阿南神召キリスト教会牧師 林田啓子

創造を伝える働き人養成講座の様子@足摺岬



先日は素晴らしいセミナーを足摺岬で開いてくださり、ありがとうございました。「天地創造を信じる事ができたら、聖書のすべてを信じる事ができる！」本当だと思いました。創造論がこんなに重要な意味を持っているとは、考えたことはありませんでした。

進化論やヒューマニズムについても、なんとなく言葉だけ聞いていて、深く考えることなど、なかった人生でした。こんな大事なことをどうして考えなかったのでしょうか。でも、創造論には以前から興味があり、一度機会があれば、

学んでみたいと思っていました。

今回は柿谷先生（須崎福音キリスト教会牧師）が途中から車に乗せてくださったので、行くことができましたが、一人だったら、とても行けませんでした。どうしようかと悩んだのですが、行ってよかったと思っています。

星の観察も、サンゴや熱帯魚の観察も創造論につながって、とても素晴らしいひと時でした。食事と一緒に作って食べると、楽しいですね。

なんだか、前から一緒にいる家族のような気がしてきました。準備がよくしてあったせいか、作るのも、あっという間にできたような気がします。びっくりでした。また6月の養成講座でお会いできるのを楽しみにしています。

創造に関するイベント 2017

■創造を伝える働き人養成講座

第7回 2017/3/27(月)～29(水)

@山梨県 山中湖

第8回 2017/5/29(月)～31(水)

@兵庫県 城崎(温泉)

会場は各地のリゾートマンションです。

第9回 2017/6/5(月)～7(水)

@高知県 足摺岬(温泉)

■春の創造セミナー

2017/4/22 10～12時、14～17時

@東京プレーヤーセンター OCC404 号室

*青少年向け創造セミナーは、会場の都合で休会とさせていただきます。

■聖書&科学カンファレンス

本年は、休会とさせていただきます。

■ジェネシスジャパン

秋の創造セミナー

2017/10/11(水)～13(金)

@長野県 ホテルグリーンプラザ白馬

講師：宇佐神正海・宇佐神実・山本哲也

*ご参加をお待ちしています♪

*秋のセミナー日程変更のお詫び

当初10月25～27日に予定しておりました秋の創造セミナーですが、上記の日程に変更になりました。すでに予定されていた方には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。